

平成 26 年

全国

一級河川の水質現況

Recent condition of water quality of class A river in Japan

2014

概要パンフレット

特集

遠賀川・後志利別川

良好な水環境を目指して

平成 26 年水質調査結果

新しい水質指標による調査結果

人の健康の保護に関する環境基準

ダイオキシン類

水質事故等の状況

参考資料

コラム

河川ゴミパトロール

- 河川協力団体における河川美化の取り組み -



CONTENTS

特集

良好な水環境を目指して

おんが 遠賀川	02
しりべしとしべつ 後志利別川	04

平成 26 年水質調査結果	06
過去 10 年間の水質改善状況	07
水質が最も良好な地点	08
水質が最も良好な河川	10
生活環境の保全に関する環境基準の満足状況	11

コラム

河川ゴミパトロール

河川協力団体における河川美化の取り組み	12
---------------------	----

新しい水質指標による調査結果	13
新しい水質指標による調査結果の概要	14
泳ぎたいと思うきれいな川	16

人の健康の保護に関する環境基準	17
-----------------	----

ダイオキシン類	19
---------	----

水質事故等の状況	21
----------	----

参考資料	23
------	----

用語の解説	24
-------	----

特集

良好な水環境を目指して

遠賀川・後志利別川



遠賀川 - 良好な水環境を目指して -

おんががわ 遠賀川 プロフィール

遠賀川は、福岡県嘉麻市の馬見山を源とし、彦山川、犬鳴川などの支川を合わせながら、福岡県北部の筑豊地方を北に流れて響灘に注ぐ一級河川です。遠賀川流域は、稲作文化や石炭産業など古くから日本人の生活や文化と深く結びついており、現在では、自動車産業や教育機関が立地し、北九州市、福岡市のベッドタウンとして宅地開発が進んでいます。また、周辺の山々は耶馬日田英彦山国定公園や北九州国定公園に指定され、人々の憩いの場や身近な自然環境として親しまれています。

遠賀川は、以前から水質汚濁の問題を抱えています。昭和初期の石炭産業の隆盛時には、石炭排水の影響で、『ぜんざい川』とよばれた黒い川でした。石炭による水質汚濁(SS)は、昭和40年頃から石炭産業の衰退により急激に改善されましたが、以降は、生活様式の変化により家庭排水に起因する水質汚濁(BOD)が顕著となり、九州の一級河川の中ではワーストの部類に属しています。しかし、河川管理者や下水道管理者、流域の市町村や住民等の関係者が一体となって水環境改善に取り組み、現在、水質は改善傾向にあります。



遠賀川流域での取り組み

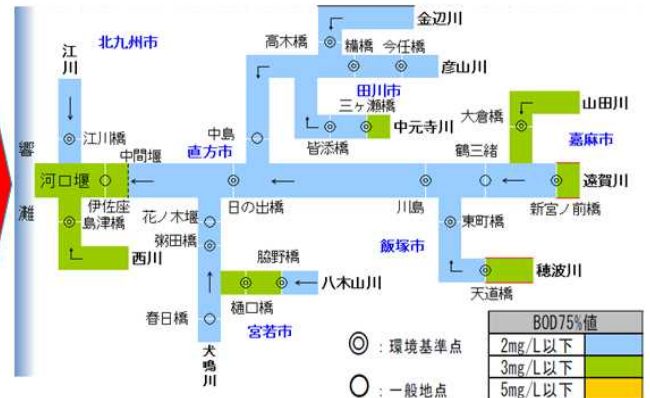
遠賀川水系清流ルネッサンス の取り組み

遠賀川は、平成14年度に清流ルネッサンスの対象河川に選定され、平成16年3月には、10年を目処に行動計画を策定しました。この結果、遠賀川水域全域でBODは改善され、平成23年度には清流ルネッサンス 開始以来初めて、水質調査を行っている全ての地点において環境基準を満足するなど効果をあげてきました。計画目標年度であった平成24年度には計画を3年間延長し、現在も継続して水環境改善施策に取り組んでいます。

計画当初(H12~H14年度平均値)



現況(H23~H25年度平均値)



流域住民団体の積極的な活動

遠賀川流域に活動拠点を持つ住民団体は80団体以上あり、個々に、あるいは連携して、流域の視点で遠賀川全体のために活動する取組みが活発に行われています。清掃活動やサケの稚魚放流、源流の森での植樹活動、水質・水生生物調査といった環境学習など、様々な活動がなされています。

流域全体での河川環境の維持・保全の活動

遠賀川流域では、流域市町村及び関係機関が連携して5月30日を「遠賀川ゴミゼロの日」と定め、平成21年度より「春の遠賀川一斉清掃」(毎年5月11日～6月10日)を実施しています。平成26年は1万1千人が参加して約31tのゴミを回収するなど、流域全体で河川環境の維持・保全に取り組んでいます。

遠賀川流域宣言

遠賀川は人々に限りない恵みを与え、生活に潤いと調和をもたらす私たちの「生命の川」です。そして産業、経済の礎となって流域の歴史を育んできました。

しかしながら、近年における社会経済の変化に伴い、水質汚濁やゴミの不法投棄などにより河川環境が悪化してきました。

私たちは、悠久の歴史を刻んできた母なる川、遠賀川を流域22市町村共有の貴重な財産であると認識し、子や孫、そして将来この流域を訪れるすべての人たちのために、美しく豊かな河川環境とその生態系を守り続けなければなりません。

ここに、流域に住む私たちみんなが連携して次のことに取り組み、遠賀川をより美しい川として次の世代へ引き継ぐことを宣言します。

1. 私たちは、水源の山々から海までつながり響きあう、生命の環を育てます。
遠賀川の豊かな水の流れや生態系を守るため、山・川・海と水でつながる流域の人々がお互いを思いやり、一体となって水源の森林や多様な生物の生息・生育環境を守り育てます。
2. 私たちは、ふるさとの川、遠賀川を誇りに思い、みんなで守ります。
遠賀川が、安らぎや愛着を感じるふるさとの風景となるよう、人々の五感に心地よい川づくりに取り組むと共に、川に学び、川を見守る活動を通じて、遠賀川をより深く理解し、大切に守ります。
3. 私たちは、深い感謝の心をもって、遠賀川に礼をつくします。
遠賀川をより清く美しくするために、住民、事業者及び行政が連携して、関連する法令を守り、汚水処理施設の整備促進、生活排水対策、ゴミゼロにむけた一斉清掃など日々の努力を続けます。

平成24年1月22日



遠賀川流域の22市町村

北九州市長 北橋 健治	直方市長 向野 敏昭
飯塚市長 齊藤 守史	田川市長 伊藤 信勝
中間市長 松下 俊男	宮若市長 有吉 哲信
嘉麻市長 松岡 繁	芦屋町長 波多野 茂丸
水巻町長 近藤 進也	岡垣町長 宮内 實生
遠賀町長 原田 正武	小竹町長 松尾 勝徳
鞍手町長 祭田 好輝	桂川町長 井上 利一
鏡前町長 田頭 喜久己	香春町長 加治 忠一
添田町長 寺西 明男	奈田町長 伊藤 良克
川崎町長 小田 幸男	大任町長 永原 謙二
赤村長 春本 武男	福智町長 浦田 弘二

※順不同、敬称略

遠賀川流域リーダーサミットの開催と流域宣言

平成19年度から、国土交通省遠賀川河川事務所とNPO法人遠賀川流域住民の会との共催で、流域の市町村長が集まる「I LOVE 遠賀川リーダーサミット」を2年に1度開催し、遠賀川の水質改善等について意見交換をしています。

平成24年1月に開催した第3回のリーダーサミットでは、福岡県知事も交えて遠賀川流域22市町村長が一堂に会し、遠賀川を美しい川にして次世代に引き継ぐために、流域住民、事業者、行政が連携し、一体となって取り組んでいくことを『遠賀川流域宣言』として宣言しました。



遠賀川流域22市町村長、福岡県知事、遠賀川河川事務所長による流域宣言(平成24年1月22日)

遠賀川河川事務所ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/index.html>

後志利別川 - 清らかな川であるために -

しりべしとしべつがわ

後志利別川 プロフィール

後志利別川は、その源を噴火湾に近い長万部岳おしやまんべだけに発し、山間部を流れ今金町いまかねちょうで平野部に出ます。今金市街でオチャラッペ川、利別目名川等としべつめながわを合わせ、せたな町で日本海に注ぐ、道南で唯一の一級河川です。

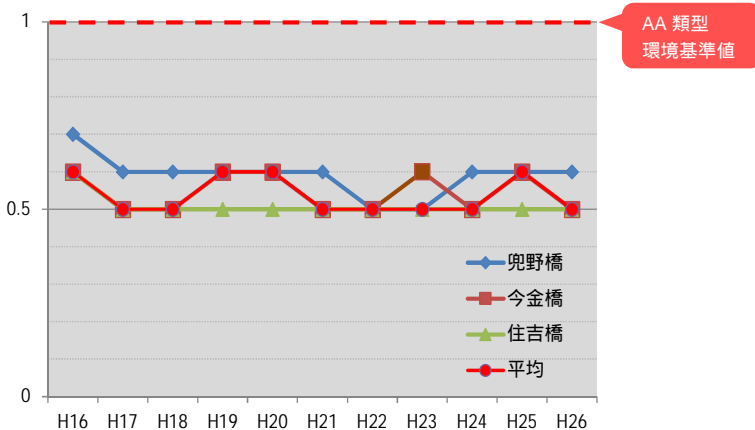
流域は温帯気候の北限に位置し、日本海を北上する対馬海流の影響で比較的温暖です。流域は、先土器時代の美利河遺跡ビリカやアイヌ文化の遺跡が発見されたように、サケの漁場として古くから開け、人々の生活の拠点でした。

江戸時代の寛永年間には、上流で砂金が取れる黄金の大地として注目されました。その後、明治20年代からは農業開発移住団が入植し、砂金に代わって黄金色の稲穂が大地をおおう、道南有数の穀倉地帯へと変貌を遂げています。

また、サケやサクラマスがのぼり、アユやヤツメウナギなどが生息する環境はたいへん美しく、流域の今金町などでは後志利別川の水を使って地酒や農産物を作り高い評価を得ています。

水質は全国の一級河川の中でも大変良好で、平成26年度の「水質が最も良好な河川」に選ばれています。

全国の一級河川について国土交通省が昭和62年から毎年公表。後志利別川は平成26年までに計15回も輝いており、全国で最多。



しりべしとしべつがわ

後志利別川流域の取組み

後志利別川では、清流を守るためのNPO法人「後志利別川清流保護の会」等による流域の植樹などの河川愛護活動、川の楽しみを広げるイベント等様々な活動が行われています。

「後志利別川清流保護の会」では、自然環境保全を目的とした川の探検隊といった、川を知り、川に親しみながら川を大切にしていける河川愛護の気持ちを育て「百年前の豊かで清らかな川をよみがえらせる」ことを目標として川遊び・水質調査などの活動を行っています。

今金河川事務所では不法投棄ゴミが確認された箇所について「ゴミマップ」を作成して実態を知っていただき、住民の皆様、行政、関係機関と伴に不法投棄を無くす取り組みを進めています。

また河川及び河口の清掃を河川協力団体であるNPO法人「後志利別川清流保護の会」やボランティアの方々の協力により行っています。

ゴミマップは下記 URL で公開しています。

<http://www.hk.hkd.mlit.go.jp/water/imakane/gomimap/img/gomimap.pdf>



平成 26 年水質調査結果

過去 10 年間の水質改善状況

平成 26 年水質調査結果

過去 10 年間に BOD 値が大幅に改善されている地点は、運河（合流前）（利根川水系利根運河）、秋山川未流（利根川水系秋山川）、川北（芦田川水系高屋川）、郡界橋（大和川水系佐保川）、亀の子橋（鶴見川水系鶴見川）であった。

平成 26 年の地点毎の年間の平均的な水質（BOD 値）と、平成 16 年の地点毎の年間の平均的な水質（BOD 値）から、10 年間の直轄管理区間の水質改善幅による地点の水質改善状況を比較すると、運河（合流前）（利根川水系利根運河）、秋山川未流（利根川水系秋山川）、川北（芦田川水系高屋川）、郡界橋（大和川水系佐保川）、亀の子橋（鶴見川水系鶴見川）で大幅な水質改善が進んでいる（表-1）。

表-1 BOD 平均値の改善幅による過去 10 年間の水質改善状況

順位	地方名 / 地点名 (水系名河川名)	平成16年 BOD年間 平均値 (mg/)	平成26年 BOD年間 平均値 (mg/)	水質改善幅 (mg/)
1	関東 / 運河(合流前) (利根川水系利根運河)	12.3	5.8	6.5
2	関東 / 秋山川未流 (利根川水系秋山川)	7.9	1.8	6.1
3	中国 / 川北 (芦田川水系高屋川)	7.5	2.2	5.3
4	近畿 / 郡界橋 (大和川水系佐保川)	6.4	2.1	4.3
5	関東 / 亀の子橋 (鶴見川水系鶴見川)	7.8	3.7	4.1

水質が良好な地点

年間の平均的な水質（BOD 値）が良好な地点

平成 26 年水質調査結果

年間の平均的な水質（BOD 値）が報告下限値の 0.5mg/l である地点は 96 地点であった。

一級河川の直轄管理区間において、年間の平均的な水質（BOD 値）が、環境省の定める報告下限値の 0.5mg/l である、水質が最も良好な地点は 96 地点であった（表-2）。

また、平均的な水質（BOD 値）が人の手が入っていない河川並の水質とされる 1.0mg/l 未満の地点は 501 地点であり、対象地点（886 地点）の 57%を占めている。

表-2（1） BOD 値による河川の水質状況（水質が最も良好な地点）

地方	地点	地方	地点
北海道	平取（沙流川水系沙流川）	東北	北向橋（名取川水系前川）
北海道	長知内橋（沙流川水系沙流川）	東北	前川（北上川水系前川）
北海道	今金橋（後志利別川水系後志利別川）	東北	信夫橋（阿武隈川水系荒川）
北海道	住吉（後志利別川水系後志利別川）	東北	下嵐江（北上川水系胆沢川）
北海道	初田橋（尻別川水系尻別川）	東北	いもくぼ橋（名取川水系太郎川）
北海道	名駒（尻別川水系尻別川）	関東	高麗川大橋（荒川水系高麗川）
北海道	美瑛緑橋（石狩川水系美瑛川）	北陸	下黒部橋（黒部川水系黒部川）
北海道	豊水大橋（石狩川水系豊平川）	北陸	愛本橋（黒部川水系黒部川）
北海道	幌平橋（石狩川水系豊平川）	北陸	温泉橋（荒川水系荒川）
北海道	日の出橋（石狩川水系千歳川）	北陸	白山合口堰堤（手取川水系手取川）
北海道	清松橋（石狩川水系幾春別川）	北陸	辰口橋（手取川水系手取川）
北海道	円山（天塩川水系天塩川）	北陸	常願寺橋（常願寺川水系常願寺川）
北海道	真勲別頭首工（天塩川水系名寄川）	中部	岩出（宮川水系宮川）
北海道	朝日橋（天塩川水系天塩川）	中部	山口（木曾川水系根尾川）
東北	轟（北上川水系江合川）	中部	鷺田橋（木曾川水系揖斐川）
東北	荒川橋（阿武隈川水系荒川）	中部	岡島橋（木曾川水系揖斐川）
東北	東雲橋（最上川水系立谷沢川）	中部	鏡島大橋（木曾川水系長良川）
東北	東橋（赤川水系赤川）	中部	藍川橋（木曾川水系長良川）
東北	戸沢橋（最上川水系鮭川）	中部	鹿島橋（天竜川水系天竜川）
東北	大深沢（北上川水系江合川）	中部	神座（大井川水系大井川）

湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。

BOD の年間の平均水質が報告下限値の 0.5mg/l である地点を、水質が最も良好な地点としている。

表-2(2) BOD 値による河川の水質状況（水質が最も良好な地点）

地方	地点	地方	地点
中部	牧ヶ谷橋（安倍川水系藁科川）	四国	八田堰（仁淀川水系仁淀川）
中部	安倍川橋（安倍川水系安倍川）	四国	伊野（仁淀川水系仁淀川）
中部	曙橋（安倍川水系安倍川）	九州	番匠橋（番匠川水系番匠川）
中部	柿田橋（狩野川水系柿田川）	九州	大瀬橋（五ヶ瀬川水系大瀬川）
中部	千歳橋（狩野川水系狩野川）	九州	松山橋（五ヶ瀬川水系五ヶ瀬川）
中部	大仁橋（狩野川水系狩野川）	九州	三輪（五ヶ瀬川水系五ヶ瀬川）
近畿	西津橋（北川水系北川）	九州	高鍋大橋（小丸川水系小丸川）
近畿	上中橋（北川水系北川）	九州	高城橋（小丸川水系小丸川）
近畿	曲里（揖保川水系揖保川）	九州	太田原橋（大淀川水系深年川）
近畿	川原樋川取水口（新宮川水系川原樋川）	九州	入野橋（大淀川水系綾北川）
近畿	熊野川河口（新宮川水系熊野川）	九州	柳瀬橋（大淀川水系本庄川）
近畿	熊野大橋（新宮川水系熊野川）	九州	本庄橋（大淀川水系本庄川）
中国	掘（佐波川水系佐波川）	九州	綾南川橋（大淀川水系本庄川（綾南川））
中国	高角（高津川水系高津川）	九州	小戸之橋（大淀川水系大淀川）
中国	金地橋（高津川水系高津川）	九州	元井谷（球磨川水系五木小川）
中国	河原町（天神川水系小鴨川）	九州	柳瀬（球磨川水系川辺川）
中国	関金（天神川水系小鴨川）	九州	四浦（球磨川水系川辺川）
中国	田後（天神川水系天神川）	九州	五木（球磨川水系川辺川）
中国	用瀬（千代川水系千代川）	九州	神屋敷（球磨川水系川辺川）
中国	源太橋（千代川水系千代川）	九州	五木宮園（球磨川水系川辺川）
四国	那賀川橋（那賀川水系那賀川）	九州	西瀬橋（球磨川水系球磨川）
四国	後川橋（渡川水系後川）	九州	多良木（球磨川水系球磨川）
四国	具同（渡川水系四万十川）	九州	五庵橋（緑川水系御船川）
四国	高瀬橋（吉野川水系吉野川）	九州	永徳寺（菊池川水系繁根木川）
四国	貞光（吉野川水系貞光川）	九州	広瀬（菊池川水系菊池川）
四国	脇町潜水橋（吉野川水系吉野川）	九州	古川橋（松浦川水系巖木川）
四国	穴吹（吉野川水系穴吹川）		
四国	肱川橋（肱川水系肱川）		
四国	仁西（仁淀川水系仁淀川）		
四国	中島（仁淀川水系仁淀川）		

湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。

BOD の年間の平均水質が報告下限値の 0.5mg/l である地点を、水質が最も良好な地点としている。

水質が最も良好な河川

水質調査地点の
平均的な水質（BOD値）が良好な河川

平成 26 年水質調査結果

平均的な水質が最も良好な河川は、尻別川、後志利別川、沙流川、荒川（阿武隈川水系）、安倍川、熊野川、北川、仁淀川、吉野川、川辺川、本庄川、小丸川、五ヶ瀬川の全 13 河川であった。

直轄管理区間に複数の水質調査地点を有する河川のうち、各調査地点の年間の平均的な水質が最も良好な河川は、尻別川、後志利別川、沙流川、荒川（阿武隈川水系）、安倍川、熊野川、北川、仁淀川、吉野川、川辺川、本庄川、小丸川、五ヶ瀬川の全 13 河川であり、その BOD 値は 0.5mg/l であった（表-3）。

表-3 BOD 値による河川の水質状況（水質が最も良好な河川）

年	地方名 / 河川名（水系名）		都道府県名	BOD (mg/)	
				平均値	(75%値)
平成 26 年	北海道	尻別川 （尻別川水系）	北海道	0.5	(0.5)
	北海道	後志利別川 （後志利別川水系）	北海道		
	北海道	沙流川 （沙流川水系）	北海道		
	東北	荒川 （阿武隈川水系）	福島		
	中部	安倍川 （安倍川水系）	静岡		
	近畿	熊野川 （新宮川水系）	和歌山		
	近畿	北川 （北川水系）	福井		
	四国	仁淀川 （仁淀川水系）	高知		
	四国	吉野川 （吉野川水系）	徳島		
	九州	川辺川 （球磨川水系）	熊本		
	九州	本庄川 （大淀川水系）	宮崎		
	九州	小丸川 （小丸川水系）	宮崎		
	九州	五ヶ瀬川 （五ヶ瀬川水系）	宮崎		
平成 25 年	北海道	尻別川 （尻別川水系）	北海道	0.5	(0.5)
	東北	荒川 （阿武隈川水系）	福島		
	北陸	庄川 （庄川水系）	富山		
	中部	安倍川 （安倍川水系）	静岡		
	中国	小鴨川 （天神川水系）	鳥取		
	中国	高津川 （高津川水系）	島根		
	四国	仁淀川 （仁淀川水系）	高知		
	四国	吉野川 （吉野川水系）	徳島		
	九州	川辺川 （球磨川水系）	熊本		
	九州	五ヶ瀬川 （五ヶ瀬川水系）	宮崎		

以下の条件を満たす 163 河川のうち、各調査地点の BOD 年平均値の平均が 0.5 mg/l（環境省の定める BOD の報告下限値）であるものを、平均的な水質が最も良好な河川としている。

対象河川は以下の河川。

- ・一級河川（本川）：直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川
 - ・一級河川（支川）：直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川
- 湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。

生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

平成 26 年水質調査結果

BOD（または COD）値が環境基準を満足した地点の割合は 91%であった。

平成 26 年に、一級河川（湖沼及び海域を含む。）の直轄管理区間において、生活環境の保全に関する環境基準項目のうち、BOD（生物化学的酸素要求量）または、COD（化学的酸素要求量）の環境基準を満足した地点の割合は 91%（894 地点/980 地点）で、依然として高い割合を維持している。

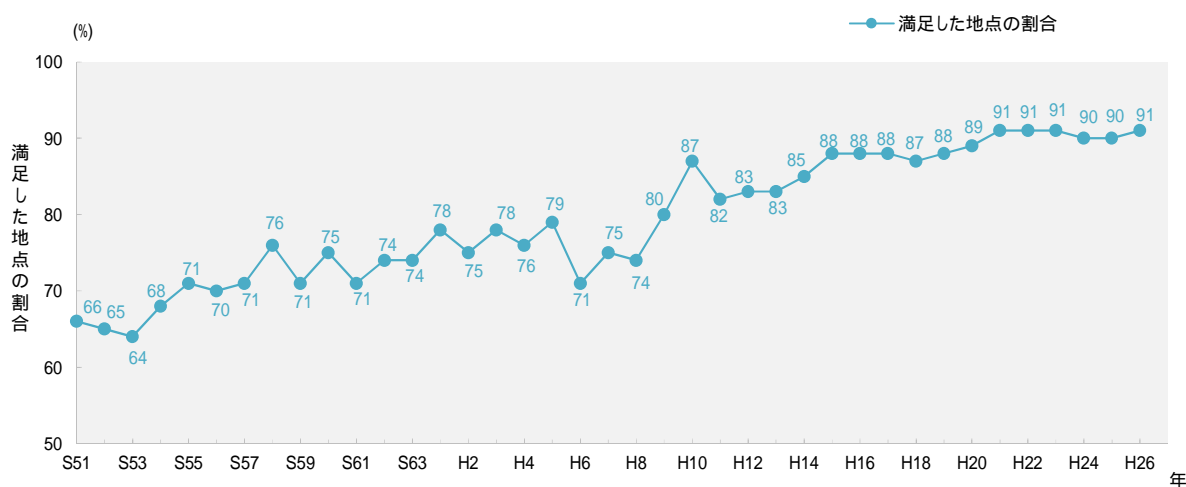


図-1 一級河川（湖沼及び海域を含む。）において環境基準を満足した地点の割合

なお、平成 26 年に BOD(または COD)値が環境基準を満足した地点の割合について、地点の種類別に見ると、河川のみでは 97% (850 地点/879 地点)、湖沼等では 44% (44 地点/101 地点)であった。

表-4 最近 10 ヶ年の環境基準を満足した地点の割合 (%)

地点	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
河川	93	93	94	95	96	97	96	95	96	97
湖沼等	36	36	37	38	38	36	40	42	39	44
全地点	88	87	88	89	91	91	91	90	90	91

湖沼及び海域

河川ゴミパトロール ～河川協力団体における河川美化の取り組み～

全国様々な河川では、心ない河川利用者によるゴミのポイ捨てや悪質な不法投棄が後を絶ちません。その中で、河川や道路といった公共スペースを少しでも美しくしようと、全国各地で様々な主催者によるボランティアのゴミ拾いが実施されています。

今回は九州の球磨川（熊本県）における「球磨川清掃リレー」と河川協力団体における「ゴミパトロール」の取り組みを紹介します。

球磨川清掃リレー

球磨川を管理する八代河川国道事務所では、住民と一緒にゴミ拾い活動に参加している事務所職員の発案で、清流をイメージしたシンボルフラッグを製作しました。平成 25 年 8 月を皮切りに、ゴミ拾いを行う前に、このシンボルフラッグを掲げ、団体名と参加人数を記載したリボンをつけて、参加者の心をひとつにして活動します。そして、順次、次の清掃活動の開催地へとフラッグがわたって行きます。やがてリボンに記載された清掃参加人数は数千人、数万人になるでしょう。この取り組みが、これまでゴミを捨ててきた人の目にも触れ、効果を発揮することを期待します。



河川ゴミパトロール

球磨川では、河川協力団体である地域の市民団体「次世代のためにがんばる会」と流域の子ども達が連携して、「子供ゴミパトロール隊」として環境学習を行っています。ゴミが生物に及ぼす影響を学び、そして実際に現地の球磨川でゴミ拾いを行い、ゴミを通じて様々な問題を学んでもらおうと平成 19 年度より 7 校が参加し活動しています。河川協力団体をはじめとする地域の団体と「もやい」の精神を基本に協働で取組むことにより、流域内に住民や学校とのネットワークに広がり生まれています。



新しい水質指標による調査結果

新しい水質指標による調査結果の概要

新しい水質指標による調査結果





ゴミの量や水のおいなど、人と河川のふれあいに関する新しい指標を用いて、住民との協働により、河川に近づきやすい地点で調査を実施した。

平成 26 年は、約 22% (65 地点/301 地点) が「泳ぎたいと思うきれいな川」^{注1)}と評価された。

国土交通省では、河川を BOD などの環境基準だけでなく多様な視点で評価するための指標について検討し、「今後の河川水質管理の指標について(案)」を平成 17 年 3 月にとりまとめた^{注2)}。新しい水質指標(河川)は、「人と河川の豊かなふれあいの確保」などの視点からなり、調査の一部は住民と河川管理者との協働により平成 17 年から実施している(表-5)^{注3)}

表-5 人と河川の豊かなふれあいの確保

住民との協働項目

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル				糞便性大腸菌群数 (個/100m)	地域特性項目 当該河川・地点の特性や地域住民のニーズに応じて独自に設定
			全国共通項目					
			ゴミの量	透視度 (cm)	川底の感触	水のおい		
A	顔を川の水につけやすい (泳ぎたいと思うきれいな川)		川の中や水際にゴミは見あたらない。または、ゴミはあるが全く気にならない	100以上	快適である	不快でない	100以下	・住民と共に独自に設定 ・文献等から設定
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	不快感がない		1000以下	
C	川の中には入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	不快である	水に鼻を近づけると不快な臭いを感じる	1000を超えるもの	
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあっても不快である	30未満		水に鼻を近づけるととても不快な臭いを感じる		

注1 A ランク(顔を川の水につけやすい)と評価された調査地点を「泳ぎたいと思うきれいな川」としている。あくまでも水質に係る指標(ゴミの量、透視度、川底の感触、水のおい、糞便性大腸菌群数)により評価した結果であり、流れの状態や、川岸・川底の形状などの安全性については考慮していない。また、水浴場水質判定基準(環境省)における油膜の有無や COD 等の評価項目、その他の有害物質等による評価は行っていない。

注2 平成 21 年 3 月に「今後の河川水質管理の指標について(案)」を一部改訂し、平成 21 年度の調査より適用している。
http://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kankyo/suishitsukanri/shihyou.pdf

注3 評価項目ごとに A-D ランクの 4 段階の評価ランクを決めた上で、まず調査回ごとに最も低い項目別評価ランクを、その地点のその調査時の総合評価ランクとする。1 年間の調査時の総合評価ランクのうち最頻出ランクを、その地点における年間の総合評価ランクとする。最頻出ランクが 2 つ以上ある場合は、低い方のランクを年間の総合評価ランクとする。

調査結果

平成26年は、「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点から、約22%（65地点/301地点）が「泳ぎたいと思うきれいな川」と評価された。

表-6 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価ランク別の地点数

ランク	人と河川の豊かなふれあい		割合
	地点数		
Aランク	65	(43)	22%
Bランク	143	(98)	48%
Cランク	82	(56)	27%
Dランク	11	(7)	4%
計	301	(204)	100%

調査への住民参加

新しい水質指標（河川）による調査における「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点による調査は、204地点で6,996人の参加を得て実施した。

参加者数が最も多かった調査地点は、雲出川水系雲出川の小戸木橋（三重県）であった。

【人と河川の豊かなふれあいの確保】

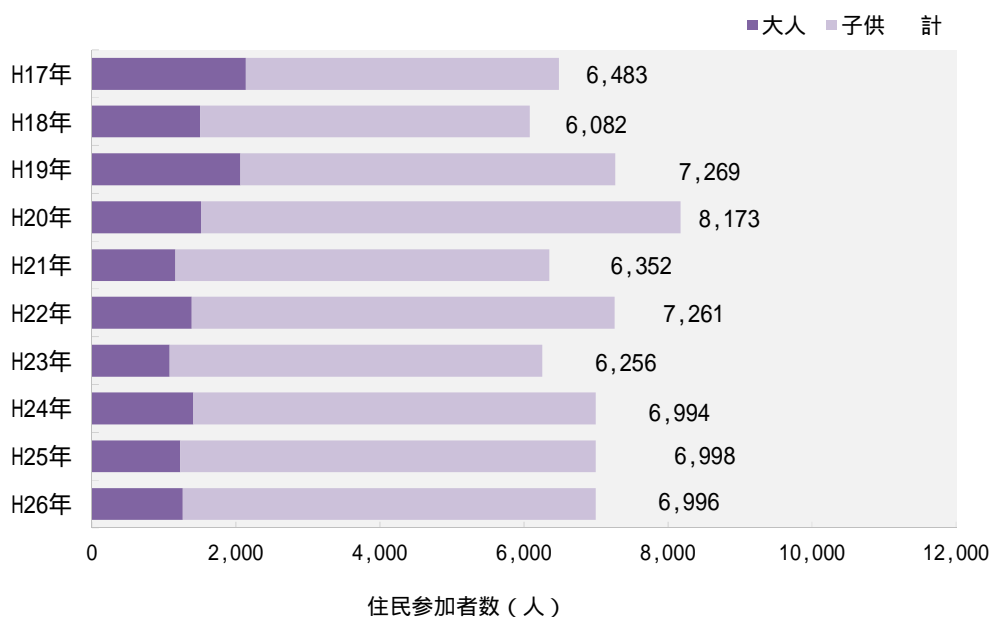


図-2 平成17年～平成26年の参加者数の推移

表-7 参加者数が特に多かった調査地点

順位	都道府県	河川名(水系名)/調査地点	参加者数
1	三重県	雲出川(雲出川水系)/小戸木橋	239
2	大阪府	大和川(大和川水系)/河内橋	232
3	愛媛県	重信川(重信川水系)/中川原橋	213
4	大分県	乙津川(大野川水系)/水辺の楽校	172
5	秋田県	米代川(米代川水系)/能代市二ツ井町大林地区	150

表中の参加者数は、年間通した延べ人数。年間に複数回の調査を実施した調査地点がある。

泳ぎたいと思うきれいな川

人と河川の豊かなふれあいの確保の評価項目と評価レベル

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル				
			ゴミの量	透視度 (cm)	川底の感触	水におい	
A	顔を川の水につけやすい (泳ぎたいと思うきれいな川)		川の中や水際にゴミは見あたらない。または、ゴミはあるが全く気にならない	100以上	快適である	不快でない	糞便性大腸菌群数 (個/100m)
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	不快感がない	不快でない	1000以下
C	川の中に入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	不快である	水に鼻を近づけると不快な臭いを感じる	1000を超えるもの
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあってとても不快である	30未満	不快である	水に鼻を近づけるととても不快な臭いを感じる	1000を超えるもの

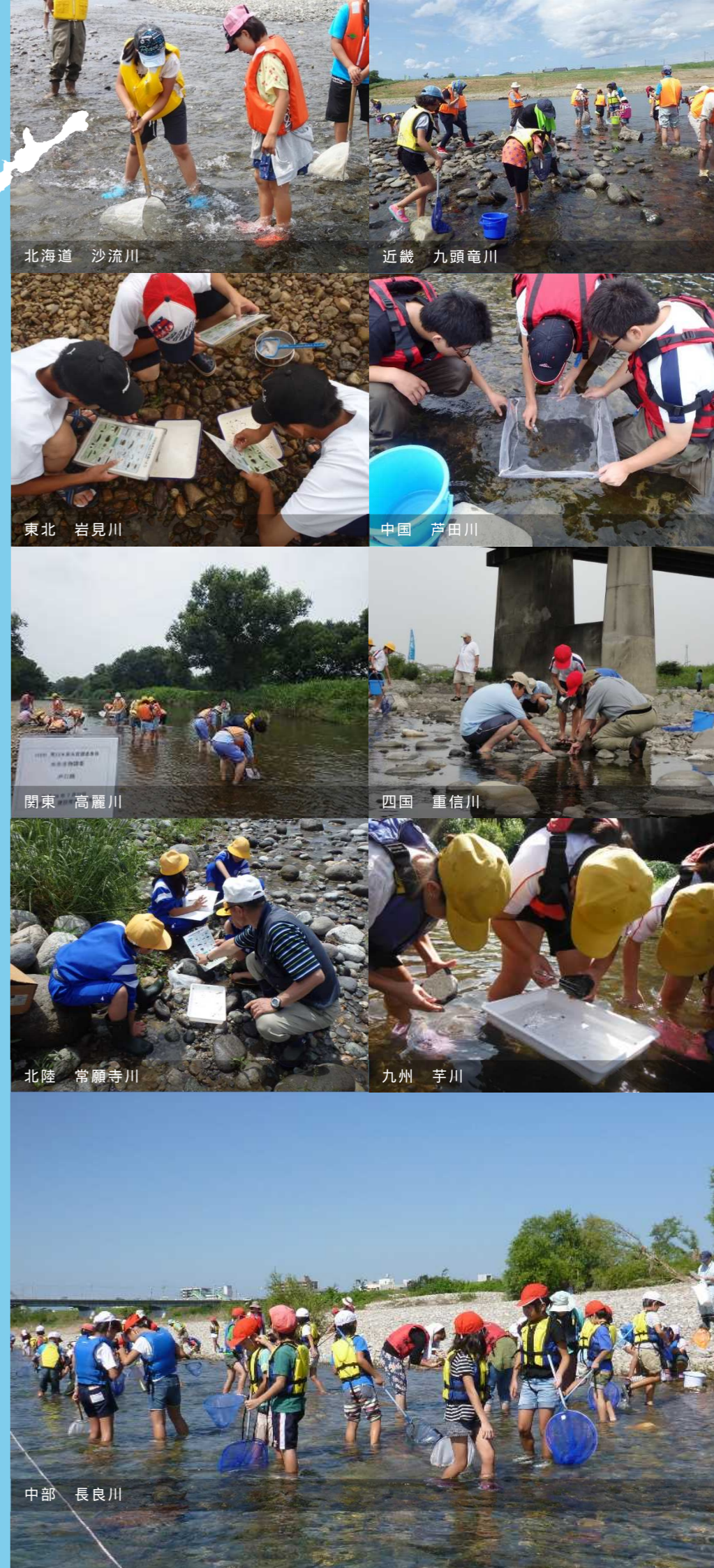
測定した評価項目のうち全ての評価項目がAランクの場合、泳ぎたいと思うきれいな川と判定

住民と河川管理者との協働により上記評価項目のうち1項目以上を測定した調査結果及び河川管理者が単独で「ゴミの量」「川底の感触」又は「水におい」を含む1項目以上を測定した調査結果を、評価の対象としている。



図-3 泳ぎたいと思うきれいな川

図中の青丸は、年間の総合評価ランクがAランクの地点。
あくまでも水質に関する指標により評価した結果であり、流れの状態や、川岸・川底の形状などの安全性については考慮していません。
水浴場水質判定基準（環境省）における油膜の有無やCOD等の評価項目、その他の有害物質等による評価は行っていません



人の健康の保護に関する環境基準

人の健康の保護に関する環境基準

人の健康の保護に関する項目（健康項目）が環境基準を満足した地点の割合は約 99%であった。

平成 26 年における、直轄管理区間の健康項目全体の環境基準満足率は 99%（前年 99%）となっており、ほとんどの地点で環境基準を満足した。

環境基準超過がみられたのは、砒素、ふっ素、ほう素の 3 項目であり、ほぼ自然由来によるものであった。

表-8 健康項目の水質調査結果

項目名	調査地点数	調査検体数	超過地点数
カドミウム	696	1,830	-
全シアン	683	1,785	-
鉛	771	2,734	-
六価クロム	683	1,752	-
砒素	766	2,731	2
総水銀	688	1,846	-
アルキル水銀	91	211	-
P C B	603	783	-
ジクロロメタン	631	1,130	-
四塩化炭素	641	1,070	-
1, 2 - ジクロロエタン	626	1,069	-
1, 1 - ジクロロエチレン	628	1,054	-
シス - 1, 2 - ジクロロエチレン	631	1,065	-
1, 1, 1 - トリクロロエタン	641	1,073	-
1, 1, 2 - トリクロロエタン	628	1,054	-
トリクロロエチレン	658	1,110	-
テトラクロロエチレン	656	1,129	-
1, 3 - ジクロロプロペン	628	1,022	-
チウラム	616	959	-
シマジン	616	959	-
チオベンカルブ	616	959	-
ベンゼン	629	1,053	-
セレン	638	1,110	-
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	685	4,405	-
ふっ素	625	1,474	1
ほう素	603	1,285	2
1, 4 - ジオキサン	322	625	-
合計	16,699	37,277	5

ダイオキシン類等の実態調査結果

ダイオキシン類の実態調査

ダイオキシン類等の実態調査

ダイオキシン類が水質環境基準を満足した地点の割合は約 98%であった。

平成 11 年度から、「ダイオキシン類対策特別措置法」で定義されているダイオキシン類について、直轄管理区間で継続的に水質と底質の調査を実施している。

平成 11 年度以降、水質については、ほとんどの地点が環境基準(1pg-TEQ/l 以下)を満足しており、平成 26 年度は、約 98% (221 地点 / 226 地点) が環境基準を満足した。また、底質については、全ての地点で環境基準(150pg-TEQ/l 以下)を満足した。

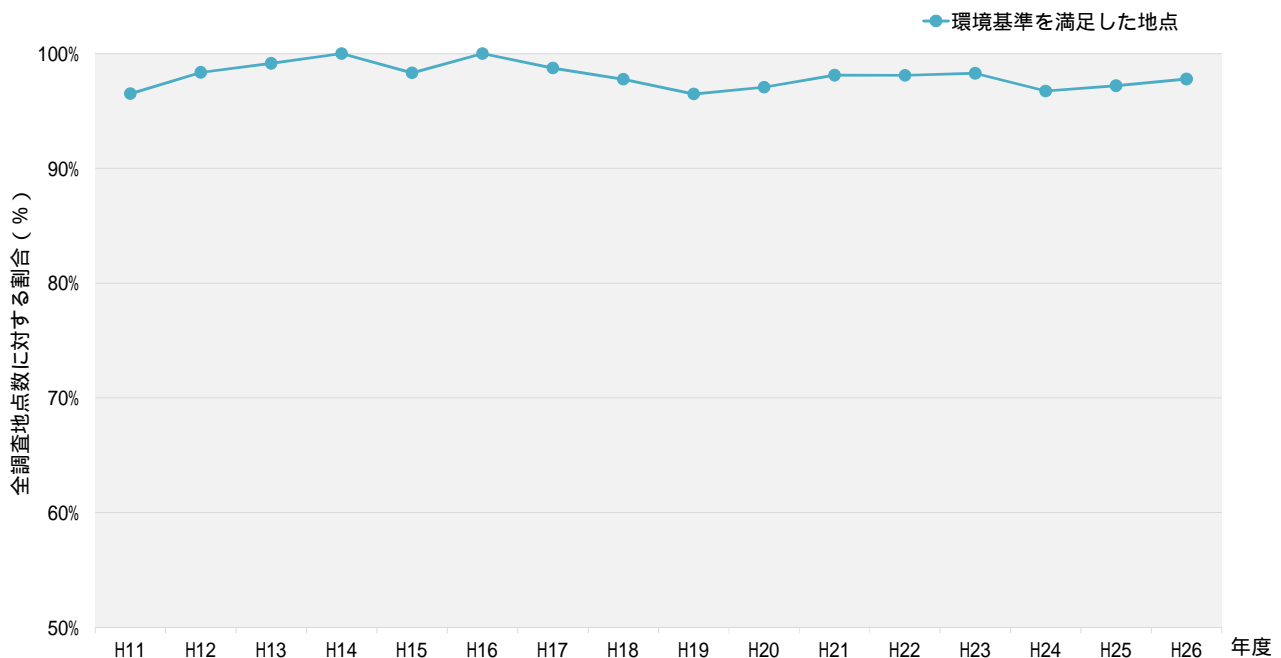


図-4 ダイオキシン類の水質調査で環境基準を満足した地点の割合

水質事故等の状況

水質事故等の状況

水質事故等の状況

平成 26 年の水質事故の発生件数は 1,238 件で、平成 19 年以降、概ね横ばいであった。

水質事故の発生件数は平成 18 年まで毎年増加していたが、その後は概ね横ばいである。平成 26 年は平成 25 年とほぼ同数であった。

一方、上水道の取水停止を伴う重大な事故の発生件数は 13 件であった。

事故の内容を原因物質別にみると、図-6 に示すように油類の流出が全体の約 78.8%と最も多い。

一級水系においては、河川管理者と関係機関により構成される「水質汚濁防止連絡協議会」がすべての水系に設置されており、水質事故発生時には、速やかに情報の収集、通報・連絡を行うとともに、関係機関との連携のもとにオイルフェンスの設置等により、被害の拡大防止に努めている。

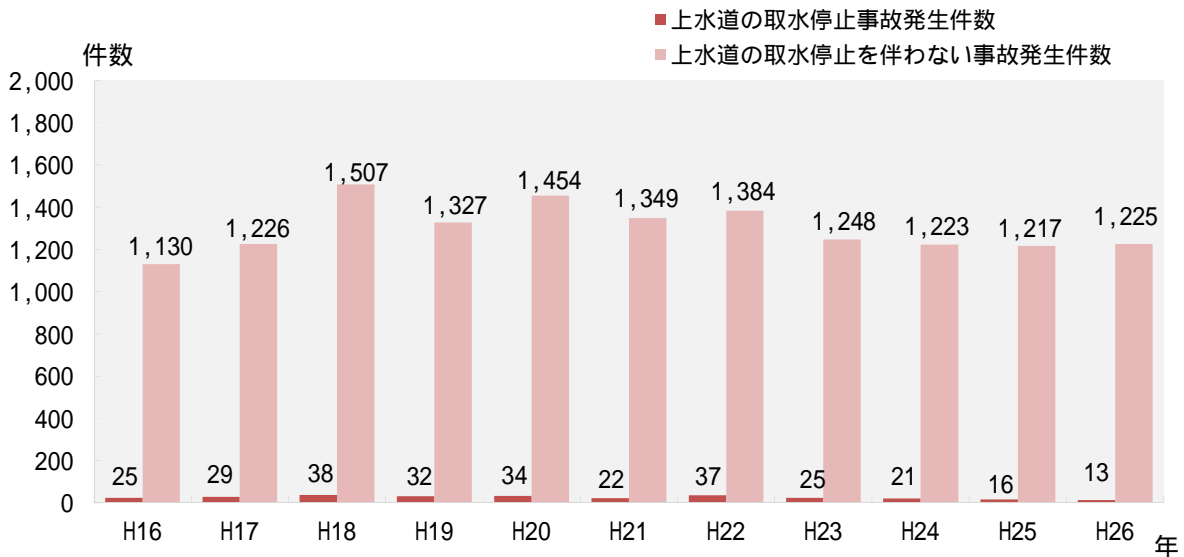
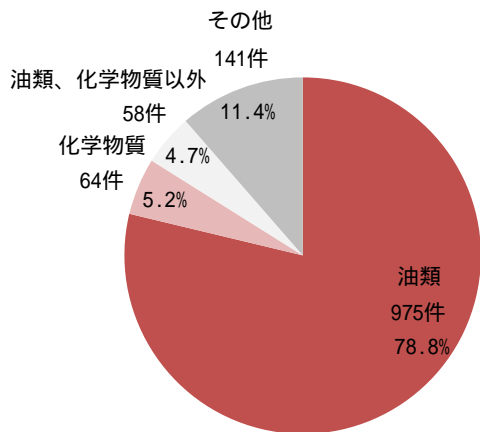


図-5 水質事故発生件数と上水道の取水停止事故発生件数の推移



合計 1,238 件（自然現象 29 件を除く）

図-6 水質事故の内容（原因物質別）



オイルフェンスの設置

油事故対応として、オイルフェンスを設置し、油類の拡散を防ぐとともに、吸着マットで油類を吸着し、流出した油類の除去を行っている。

写真：国土交通省四国地方整備局

參考資料

用語の解説

参考資料

BOD（生物化学的酸素要求量）

河川の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の汚れ（有機物）が微生物により分解されるときに消費される酸素量のことで、BOD の値が大きければ水が汚れていることを表す。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の有機物を酸化剤で酸化されるときに消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもので、COD の値が大きければ水が汚れていることを表す。

75%値

年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ「 $0.75 \times n$ 」番目（ n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%値とする。（「 $0.75 \times n$ 」が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。）

例えば、BOD を毎月 1 回測定していた場合、1 年間の水質評価は、水質の良い方（値の小さい方）から数えて $0.75 \times 12=9$ 番目の値（75%値）で評価する。

環境基準

環境基本法において、人の健康の保護及び生活環境の保全のために維持されることが望ましい基準を定めることとされ、環境省告示によってその基準値が定められている。人の健康の保護に関する環境基準（健康項目）は全国共通の値であるが、生活環境の保全に関する項目（生活環境項目）は水域の種類ごとに基準値が定められている。

類型

水域の状況や利用目的等を考慮して、水域ごとに類型が指定されている。生活環境項目の環境基準は、類型別に基準値が定められている。

糞便性大腸菌群数

大腸菌群のうち 44.5 という高温でも生育する細菌群で、大腸菌以外の細菌も含まれる。糞便性大腸菌群が多く検出されるということは、糞便汚染を受けた可能性が高く、赤痢菌、サルモネラ菌などの病原菌に感染しているリスクが高いことを示す。このため、水浴場水質の判定基準に用いられている。

ダイオキシン類

ダイオキシン類対策特別措置法に定義される『ポリ塩化ジベンゾ - パラ - ジオキシン(PCDD)』『ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)』『コプラナーポリ塩化ビフェニル(Co-PCB)』の 3 種の化合物群である。非意図的に生成され、毒性が非常に強く、残留性が高い物質である。

平成 26 年全国一級河川の水質現況 概要パンフレット
Recent condition of water quality of class A river in Japan

<http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/index.html>



国土交通省
水管理・国土保全局 河川環境課

〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-3
Tel.03-5253-8111 (代表)